



題字は福島慎太郎初代理事長

## 「日本の書展」第50回の記念展を開催

「日本の書展」は第50回の記念の年を迎えた。長引くコロナ禍のなか、第48回展は関西展と中部展、第49回展は関西展と九州展が、緊急事態宣言中または宣言解除直後にあたり開催中止となっていたが、第50回の記念展は直轄4展とも無事に開催することができた。また、大きな節目の展覧会ということで、十分な感染症対策を講じて、3年ぶりに開催披露祝賀会を開くことができた。

書の理想を同じくする者が地域や会派的なものを超えて集まり、全国的な会を結成しようという若手らの動きは、「日本の書展」を全国津々浦々で開催しようという活動になり、1974（昭和49）年に財団法人全国書美術振興会の設立に至っている。現在、「日本の書展」東京、中部、関西、九州の直轄4展で開催後、地元新聞社主催で8か所を巡回している。現代書壇の最高峰の書家が出品し、各地の代表書家の作品とともに、会派を超えて一堂に展示される貴重な機会と評価をいただいている。



開催披露祝賀会で高木聖雨代表理事・理事長は「全国書美術振興会の設立当時の書家たちは、書道界挙げての風通しの良い組織を立ち上げ、書道界自体を広く社会的に認知してもら

公益財団法人  
全国書美術振興会  
会報  
第40号  
令和5年3月1日発行  
発行者(公財)全国書美術振興会  
編集責任者 片山 純一  
東京都港区赤坂 2-11-1  
デルックス溜池山王 6階



私たちは「日本の書道文化」のユネスコ無形文化遺産登録を応援しています。



東京展祝賀会



高木聖雨理事長

振興活動を推進していこうという思いでした。この書道振興活動の設立趣旨は現在まで一貫しています。全国十数か所での展覧会、数多くの海外展、書写書道教育の充実を訴える運動、日本の書道文化をユネスコの無形文化遺産に登録しようという運動などに積極的ににかかわり、事務局を引き受けてきた活動は、



愛知県美術館ギャラリー

### 中部展

令和4年5月31日(火)  
6月5日(日)

その設立趣旨を反映した活動です。そして、令和3年12月に書道が我が国初の登録無形文化財に登録されましたことは、書道の伝統継承や普及、後進の育成など、これまでの活動を持続し、発展させていかなければならないという、大きな責務を負ったことだと理解しています」と挨拶し、「日本の書展」がこれからも開催回数を重ねて発展していくことを祈念した。

また、「日本の書展」50回記念事業として、記念誌「全国書美術振興会五十年の歩み」を刊行し、東京展の会期に重ね、東京・セントラルミュージアム銀座で特別展「日本の書展を築いた先達の書」を開催した。

なお、第50回直轄4展の出品者総数は3648人。前回から93人増加した。入場者総数は1万4654人だった。

愛知県美術館ギャラリー(愛知芸術文化センター)8階 A1)主催(公財)全国書美術振興会、中日新聞社  
後援 文化庁、愛知県、東海テレビ放送  
協賛(公社)中部日本書道会  
出品数は、巨匠、代表の121点、委嘱17点、招待190点、秀拔選411点、合計739点、入場者数は2767人だった。  
中日新聞紙面では展覧会紹介、また東海テレビ放送でも展覧会場の様子が放映された。



榎本樹邨顧問



鷲見卓中日新聞社取締役事業担当



田中壮一郎会長

6月1日(水)、名古屋東急ホテルで約300人の出席による開幕祝賀会を行った。高木理事長、田中壮一郎代表理事・会長から主催者代表挨拶、中日新聞社鷺見卓取締役事業担当の共催挨拶、樽本樹邨顧問の書家代表挨拶後、東海テレビ放送林泰敬取締役事業担当の乾杯発声で祝宴に入り、鬼頭翔雲評議員の閉会挨拶で終了した。

## 東京展

令和4年6月16日(木)  
6月26日(日)

国立新美術館(展示室1A) 1



小林万里子文化庁審議官



塩谷立書道国会議員連盟会長



三土正司共同通信社社長

D) 主催(公財)全国書美術振興会、共同通信社 後援 文化庁

出品数は、巨匠、代表の121点、委嘱49点、招待667点、秀拔選825点。他展の委嘱63点も併せて展示し、総展示数は1725点、入場者数は8363人だった。

6月16日(木)、ホテルオークラ東京で約590人の出席による開幕祝賀会を行った。高木理事長、田中会長から主催者代表挨拶、共同通信社三土正司代表取締役社長の共催挨拶、書道国会議員連盟塩谷立会長、文化



河村建夫  
書道国会議員連盟名誉会長



井茂圭洞名誉顧問



宮田亮平日展理事長



高田行紀  
文化庁地域文化創生本部事務局長



伊藤富博  
産経新聞社事業本部長

## 関西展

令和4年7月8日(金)

7月10日(日)

大阪国際会議場(3階イベントホール ASE)

主催(公財)全国書美術振興会、産経新聞社

後援 文化庁、大阪府

協賛(公社)日本書芸院

出品数は、巨匠、代表の121点、委嘱37点、招待450点、秀拔選535点、合計1143点、入場者数は1702人だった。産経新聞紙面では展覧会紹介をしている。

庁小林万里子審議官、前文化庁長官で日展の宮田亮平理事長の3氏による来賓挨拶、井茂圭洞名誉顧問の書家代表挨拶後、書道国会議員連盟河村建夫名誉会長の乾杯発声で祝宴に入り、新井光風顧問の閉会挨拶で終了した。



大阪国際会議場

## 九州展

令和4年7月12日(火)

7月18日(月・祝)

第1会場 福岡市美術館(2階)

ギャラリー ASEF)

第2会場 福岡県立美術館(3階展示室 1~4号室)

主催(公財)全国書美術振興会、西日本新聞社

7月8日(金)、リーガロイヤルホテルで約340人の出席による開幕祝賀会を行った。高木理事長、田中会長から主催者代表挨拶、産経新聞社伊藤富博事業本部長の共催挨拶、文化庁地域文化創生本部高田行紀事務局長の来賓祝辞、井茂圭洞名誉顧問の書家代表挨拶後、共同通信社石井達也大阪支社長の乾杯発声で祝宴に入り、真神巍堂常務理事の閉会挨拶で終了した。



石原進  
福岡市文化芸術振興財団理事長



島谷弘幸  
九州国立博物館館長



柴田建哉西日本新聞社社長

後援 文化庁、福岡県

出品数は、巨匠、代表の121点、委嘱9点、招待142点、秀拔選195点、合計467点、入場者数は1822人だった。西日本新聞紙面では展覧会紹介をしている。

7月16日(土)、ソラリア西鉄ホテル福岡で約1200人の出席による開幕祝賀会を行った。高木理事長、田中会長から主催者代表挨拶、西日本新聞社柴田建哉代表取締役社長の共催挨拶、国立文化財機構理事長で九州国立博物館島谷弘幸館長の来賓祝辞、福岡市文化芸術振興財団石原進理事長の乾杯発声で祝

宴に入り、松清秀仙評議員の閉  
会挨拶で終了した。



福岡県立美術館

### 公募臨書（東京展会場内）

令和4年6月16日（木）

～6月26日（日）

### 国立新美術館

「日本の書展」第40回より始  
まった臨書に限った公募展で、  
11回目を迎えた。今回は941  
点の応募で、昨年はコロナの影  
響で落ち込んだ出品点数が戻っ  
た。審査は当会役員で構成され  
る8人の審査委員によって行わ  
れ、その中から476点（漢字  
358点、かな98点、篆刻20点）  
が入選し、表具した作品は第50  
回「日本の書展」東京展の会場  
内に前期と後期に分けて展示さ  
れた。作品は展覧会終了後、入  
選證と一緒に入選者に届けられ  
た。

### 巡回展

例年、「日本の書展」直轄4  
展の終了後、現代書壇巨匠、代  
表の作品121点に、地元の有  
力作家の作品を加えて、当会と  
共同通信社、地元各新聞社の共  
催、文化庁後援のもと全国を巡  
回している。第50回展は予定通  
り開催されている。

島根（山陰中央新報社）

令和4年8月25日～8月29日

島根県立美術館

青森（東奥日報社）

令和4年9月3日～9月6日

News-TOOビル 3階催事場

富山（北日本新聞社）

令和4年9月17日～9月19日

富山県民会館

広島（中国新聞社）

令和4年9月29日～10月4日

福屋広島駅前店 8・9階催事  
場

岡山（山陽新聞社）

令和4年10月12日～10月17日

天満屋岡山店 6階葦川会館

奈良（奈良新聞社）

令和5年2月22日～2月26日

奈良県文化会館

長野（信濃毎日新聞社）

令和5年3月3日～3月6日

長野県立美術館

茨城（茨城新聞社）

令和5年4月8日～4月13日

ザ・ヒロサワ・シティ会館（茨  
城県立県民文化センター）

### 「日本の書展」第五十回記念事業を実施

令和4年に「日本の書展」は  
第50回を迎え、記念誌「全国書  
美術振興会五十年の歩み」の刊  
行と特別展「日本の書展を築い  
た先達の書」を開催した。

◎ 記念誌「全国書美術振興会  
五十年の歩み」の刊行

【構成】

第1部 全国書美術振興会五十  
年史

全国書美術振興会は日本の書  
道界を開かれたものとし、書道  
界各派各流を超えて結集し、日  
本の書美術を一層磨き、一般に  
向けては普及と発展を図る目的  
で発足し、1974（昭和49）  
年に文部省から財団法人の認可  
を受け、2012（平成24）年  
に公益財団法人の認定を受けて  
いる。振興会の団体発足からこ  
れまでの活動を、「日本の書展」

「日本の女流書展」、国際交流と  
海外展、記念展・特別展、書道  
界を挙げての事業の事務局とし

ての取り組みを特集しながら、  
年表・写真・開催一覧表を交え  
て掲載。

第2部 「日本の書展」第五十  
回特別展

セントラルミュージアム銀座  
で開催した特別展「日本の書展  
を築いた先達の書」の作品図版  
62点および「受勲記念帖」の作  
品76点を収録。

【仕様等】  
A4上製216頁、貼函。  
4500冊印刷、販価3000  
円（税込）

◎ 特別展「日本の書展を築い  
た先達の書」

【内容】  
現代書壇を形づくり「日本の  
書展」の礎を築いた物語書家62  
名の作品を、美術館や記念館、  
個人所蔵を含めた全国25か所か  
ら借受。1977（昭和52）年、  
全国書美術振興会初代理事長の  
福島慎太郎の古希と勲一等瑞宝  
章叙勲を祝い、「日本の書展」

「日本の書展」  
出品書家76名に  
より制作、寄贈  
された「受勲記  
念帖」とともに  
展覧した。文化  
勲章受章者、文  
化功労者、日本  
芸術院会員、日  
本芸術院賞受賞  
者をはじめとす



財団法人書美術振興会  
創立披露パーティー  
全国の書業界に華やかなりし  
政界・財界・在外館  
の書業界に華やかなりし  
華やかな開催



特別展「日本の書展を築いた先達の書」セントラルミュージアム銀座



る書展設立時の先達の代表的な  
書が一堂に鑑賞できる展覧会と  
して、来場者から高い評価を得  
た。

【開催要領等】

会期…2022（令和4）年6  
月14日（火）～6月19日（日）  
／会場…セントラルミュージ  
アム銀座／主催…公益財団法人

全国書美術振興会・共同通信社  
／後援…文化庁／入場料…無料  
／入場者…2410名



特別展会場に展示された受勲記念帖



子どもの毛筆体験教室  
「筆もじにトライ！」

2022 開催

令和4年12月24日(土)～26日(月)



筆もじにトライ！体験風景

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟4階「研修室416」  
スケジュール  
12月24日(土)  
A 10時30分～11時40分  
B 13時30分～14時40分  
C 15時40分～16時50分  
12月25日(日)  
D 10時30分～11時40分  
E 13時30分～14時40分  
F 15時40分～16時50分  
12月26日(月)  
G 10時30分～11時40分  
H 13時30分～14時40分

今回も、国立青少年教育振興機構の「子どもゆめ基金」からの助成を受け開催した。昨年に続き渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センター施設内で8月に開催を予定し、満席の申込みを受けていたが、開催直

前に新型コロナウイルス感染症が拡大したため、やむなく12月に延期した。8月の予定で準備を進めていたため、冬の開催ではあったが「うちわ」に筆で文字を書こうという内容で開催、3日間で計116人の参加があった。

日本書道文化協会の活動報告

【「書道」の登録無形文化財への登録と日本書道文化協会の保持団体認定、文部科学大臣からの認定書交付】

令和3年12月2日の官報において、「書道」が初の登録無形文化財に登録され、全国書美術振興会に事務局を置く日本書道文化協会が書道の保持団体に認定された。また、同年12月25日に末松信介文部科学大臣より、井茂圭洞会長に対して認定書が交付された。

【登録記念シンポジウムと特別揮毫会の開催】

令和4年2月に東京と大阪で登録記念シンポジウムと特別揮毫会を開催した。開催時はコロナ感染者が増加傾向にあり、感染対策に万全を期すため、予定していた参加者定員を大幅に削減して開催することとした。この事業は文化庁の文化財補助金対象事業となっている。

〈東京会場〉有楽町よみうりホール 協力…全国書美術振興会  
令和4年2月5日(土) 13時～

15時 参加者250名  
講師・揮毫者 高木聖雨、高木厚人、室井玄尊 司会進行 永守蒼穹  
〈大阪会場〉OMビル 2階 Cホール 協力…日本書道院  
令和4年2月12日(土) 13時～15時 参加者200名  
講師・揮毫者 黒田賢一、杭迫柏樹、中村伸夫 司会進行 森嶋隆凰

【令和4年度の登録無形文化財「書道」特別揮毫会の開催】

〈東京会場〉銀座フェニックスプラザ2階フェニックスホール  
令和4年8月25日(木) 13時～14時半 参加者80名  
講師・揮毫者 星弘道、清水透石  
〈大阪会場〉大阪国際会議場(特別会議場)  
令和5年2月5日(土) 13時～15時 参加者200名  
講師・揮毫者 真神魏堂、田頭一舟、山本大悦



特別揮毫会・星弘道副会長



特別揮毫会・清水透石参事



熊本県立御船高校・高木聖雨副会長

【高等学校等への会員書家の派遣事業の実施】  
日本書道文化協会では若い世代への伝統的な書道の普及を図るため、学校への会員書家派遣事業を実施している。この事業も文化庁の文化財補助金対象事業となっている。  
令和4年3月19日(土) 千葉県立袖ヶ浦高等学校 講師 辻元大雲  
令和4年3月29日(火) 滋賀県・私立比叡山高等学校 講師 真神魏堂  
令和4年10月22日(土)

熊本県立御船高等学校  
講師 高木聖南  
令和5年3月14日(火)  
埼玉県・私立本庄東高等学校  
講師 土橋靖子 〓予定  
令和5年3月29日(水)  
奈良県立桜井高等学校(畝傍高等  
学校と共同)  
講師 中村伸夫 〓予定

【街なか書道体験の実施】

「書道」を保護継承していくために、新たな普及活動の一環として、街なかでの書道体験の場を作っていく事業「街なか書道体験」を実施。「般若心経」と「いろは歌」のなぞり書きができるように、著名書家の手本を基に制作した用紙に、いろいろな場所、施設を訪れた方や通りすがりの方に書道体験ができるようにしている。駅や空港、病院、図書館、高齢者施設、様々な書道関連イベント会場での書道体験コーナーを想定しているが、まずは、書道用品店の皆様にご協力いただき、令和4年6月から書道用品店でスタートしている。また、国立青少年教育振興機構の協力を得て、7月25日から9月末まで国立オリンピック記念青少年総合センターにブースを設けて実施し、



街なか書道体験・池袋サンシャインシティ

550名が参加した。  
このほか、各地でイベント等の開催に合わせて実施。

- ・9月23日 京都市で開催のウクライナ避難者交流会 ウクライナ避難者約30名が参加。
- ・11月4日～6日 池袋サンシャインシティでの子ども向けイベントにブースを設けて実施。約350名の親子が参加。
- ・11月16日 滋賀県大津市立図書館において図書館主催大人向け講座の一つとして、かな書道の指導後、筆ペンでの「いろは歌」なぞり書きを20名が体験。

【書道文化に関する研究助成を計画】

日本の伝統的な書道文化、書法、書道教育に関する研究、論文に対して、研究助成金を支給し、若手の研究者、書家の書道文化研究の促進と振興に寄与するもので、本年4月から募集を開始する。

【賛助会員の状況】

令和5年1月20日現在、団体

会員63団体の77口、個人会員の6名の17口の加入となっている。  
〇事務局  
東京都港区赤坂2-11-1 デルックス溜池山王 全国書美術振興会内  
TEL: 03-3568-2071  
FAX: 03-3568-2072  
E-mail: info@nihonshodobunka.jp  
ホームページ: https://www.nihonshodobunka.jp

日本書道ユネスコ登録推進協議会の活動報告

令和3年12月に登録無形文化財として書道と伝統的酒造りが同時に登録されたが、令和4年2月に次のユネスコ無形文化遺産への提案候補は伝統的酒造りとなることが文化審議会で決定、公表され、3月末に政府からユネスコに対して正式に提案書が提出された。

このことを踏まえ、令和4年5月18日に開催された書道国会議員連盟では「書道を次のユネスコ無形文化遺産への提案候補とすること」の決議を採択し、6月2日には塩谷立会長が末松信介文部科学大臣に決議文を手交した。

「記念品付き寄付」について

日本書道ユネスコ登録推進協議会では、ロゴマークをデザインしたピンバッジを作成し、平成31年1月より、「記念品付き寄付」という形で寄付の協力をお願いし、500円の寄付につきピンバッジ1個を記念品とし

て贈呈していたが、3万個用意した記念品のピンバッジが令和5年1月現在で残りわずかとなった。なくなり次第終了となる。この貴重な寄付は引き続きユネスコ無形文化遺産登録に向けての推進運動に活用していく。

書写・書道教育推進協議会の活動報告

書写に係る教員研修等のためのテキスト作成について

令和3年6月9日開催の書道国会議員連盟総会において、文部科学省から、教職課程を置く大学に対して実技指導の最低限踏まえるべきところを示してほしいとのコメントがあった。これを受け、書写・書道教育推進協議会では、小・中学校の書写の教員研修、大学の教員養成課程(書写)に資する簡便なテキストを作成することとし、作業部会を立ち上げた。令和4年12月にその原案が作成され、令和5年1月に実務者会、役員了解を得て完成。冊子も作成するが、基本的にはホームページからのダウンロードを予定している。

中部展

令和5年5月30日(火)  
〓6月4日(日)

愛知県美術館ギャラリー(愛知芸術文化センター8階)  
午前10時～午後6時「最終日は午後4時まで、入館は各日とも閉館30分前まで」  
主催(公財)全国書美術振興会、中日新聞社  
後援 文化庁、愛知県、東海テレビ放送  
協賛(公社)中部日本書道会

東京展 公募臨書

令和5年6月15日(木)  
〓6月25日(日)

(20日(火)は休館日)  
国立新美術館(1階展示室1A～1D)  
午前10時～午後6時「入場は午後5時30分まで」  
主催(公財)全国書美術振興会、共同通信社  
後援 文化庁

展覧会案内

第51回「日本の書展」(予定)

※開催内容が変更となる場合があります。

関西展

※会場変更

令和5年5月3日(水・祝)  
〓5月5日(金・祝)

九州展

※二会場で開催

令和5年7月4日(火)  
〓7月9日(日)

〈第1会場〉福岡市美術館（2階ギャラリー）  
現代書壇巨匠、現代書壇代表、委嘱  
午前9時30分～午後5時30分  
〔7日（金）および8日（土）は午後8時まで、入館は各日とも閉館30分前まで〕  
〈第2会場〉福岡県立美術館（3階展示室）  
招待、秀抜選  
午前10時～午後6時「最終日は午後4時まで、入館は各日とも閉館30分前まで」

主催（公財）全国書美術振興会、西日本新聞社  
後援 文化庁、福岡県

### 巡回展

現代書壇巨匠・代表の全作品が、当会と共同通信社、地元各新聞社の共催、文化庁後援のもと全国を巡回。

- 鳥取（山陰中央新報社）  
令和5年9月1日～9月4日
- 米子市美術館
- 青森（東奥日報社）  
令和5年9月8日～9月11日
- News.FOCビル 3階催事場
- 富山（北日本新聞社）  
令和5年9月15日～9月18日
- 富山県民会館
- 岡山（山陽新聞社）  
令和5年9月27日～10月2日
- 天満屋岡山店 6階葦川会館
- 広島（中国新聞社）  
令和5年10月5日～10月10日
- 福屋広島駅前店 8・9階催事場
- 奈良（奈良新聞社）

令和6年2月20日～2月24日  
奈良県コンベンションセンター  
長野（信濃毎日新聞社）  
令和6年3月7日～3月10日  
長野県立美術館  
茨城（茨城新聞社）  
令和6年4月13日～4月18日  
ザ・ヒロサワ・シティ会館（茨城県立県民文化センター）

子どもの毛筆体験教室  
「筆もじにトライ！」  
2023（予告）

初めて毛筆に触れる子どもや毛筆経験が浅い子どもを対象とした書道体験教室。用意された色柄のイラストのうちわに、墨と筆で文字や線などを加えて、オリジナルのうちわを仕上げる。書道に関するクイズ、水書きシートや墨磨り体験をし、70分間の活動の中で毛筆の楽しさを体験してもらおう。

- 令和5年8月18日（金）～20日（日）の3日間
- 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター スポーツ棟 地下1階「第4体育室」（東京都渋谷区）
- 募集対象 3才～小学校3年生の子ども（保護者同伴必須）
- 参加費・材料費 無料
- 定員 各回36人 計288人
- スケジュール
- 8月18日（金）
- A 10時30分～11時40分
- B 13時40分～14時50分
- C 15時40分～16時50分
- 8月19日（土）
- D 10時30分～11時40分

E 13時40分～14時50分  
F 15時40分～16時50分  
8月20日（日）  
G 10時30分～11時40分  
H 13時40分～14時50分  
申込み受付期間  
詳細は4月以降、当会ホームページにて公開。申込みは専用申込みフォームのみにて受付の予定。  
※開催内容が変更となる場合あり

### 全国書美術振興会 役員

代表理事・会長 ※○印＝新任  
田中壮一郎  
代表理事・理事長  
高木 聖雨  
業務執行理事・常務理事  
大平 匡昭 黒田 賢一  
仲川 恭司 星 弘道  
真神 巍堂

理事  
明石 聴濤 有岡 郊崖  
伊藤 一翔 牛窪 梧十  
角元 正燦 高木 厚人  
田中 徹夫 辻元 大雲  
土橋 靖子 ○長井 素軒  
中村 伸夫 永守 蒼穹  
○西村 東軒  
監事  
室井 玄聳 吉澤 鐵之  
和中 簡堂  
※任期 令和4年11月28日～令和6年12月開催予定の定時評議員会の終結時まで

大澤 城山 ○大森 括  
岡野 楠亭 尾崎 蒼石  
加藤 義久 金子 大蔵  
鬼頭 翔雲 ○佐井 麗雪  
笹原 宏之 霜鳥 秋則  
鈴木 響泉 田頭 一舟  
高橋 利郎 歳森 芳樹  
深瀬 裕之 福光 幽石  
舟尾 圭碩 松清 秀仙  
松下 英風 ○松村 博峰  
宮負 丁香 森上 光月  
○山内 香鶴 山中 翠谷  
山根 亓清 山本 高邨  
吉川美恵子 吉澤 石琥  
吉澤 大淳 吉田 成美

### 名譽顧問

鈴木 勲 荒船 清彦  
日比野光鳳 井茂 圭洞  
尾崎 邑鵬  
顧問  
新井 光風 池田 桂鳳  
石飛 博光 梅原 清山  
杭迫 柏樹 樽本 樹邨  
中野 北溟

参事  
飯高 和子 石田 雲鶴  
○市澤 静山 一色 白泉  
今村 桂山 岡田 契雪  
加藤 子華 師田 久子  
芝 松翠 清水 透石  
師村 妙石 鈴木 一敬  
鈴木 春朝 田中 節山  
辻元 邑園 内藤 富卿  
中川 裕皓 小林 露風  
檜崎 華祥 西村 自耕  
原田 華上 藤岡 都逕  
前島 泉洲 三神 榮軒  
宮崎 葵光 村井 虹城  
村上 俄山 望月 和風

森川 星葉 八木 山鈴  
山本 悠雲 ○横山 煌平  
吉川 蕉仙  
※就任日 令和4年11月28日

### 書美術功労者の顕彰

令和3年度、恩賜賞・日本芸術院賞を受賞された牛窪梧十理事の功労を顕彰し、記念品を贈呈した。

### 近年物故者

次の役員の方々が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

- 榎倉香邨先生（顧問）  
令和4年1月21日 98歳
- 毛利柳村先生（参事）  
令和4年3月2日 97歳
- 中村天香先生（参事）  
令和4年4月15日 97歳
- 江幡春涛先生（参事）  
令和4年12月20日 84歳

### 事務局より

令和4年10月1日付で事務局長が交代しました。  
事務局長 片山純一（元文部科学省生涯学習総括官）  
事務局参事 坂本敏史

**事務所のご案内**  
〒107-0005-2  
東京都港区赤坂2-11-1デルックス溜池山王6階  
FAXTEL 03-3556-2071  
03-3556-2072  
ホームページ <http://shobi.or.jp/>  
メールアドレス [info@shobi.or.jp](mailto:info@shobi.or.jp)